＝ Match Report ＝

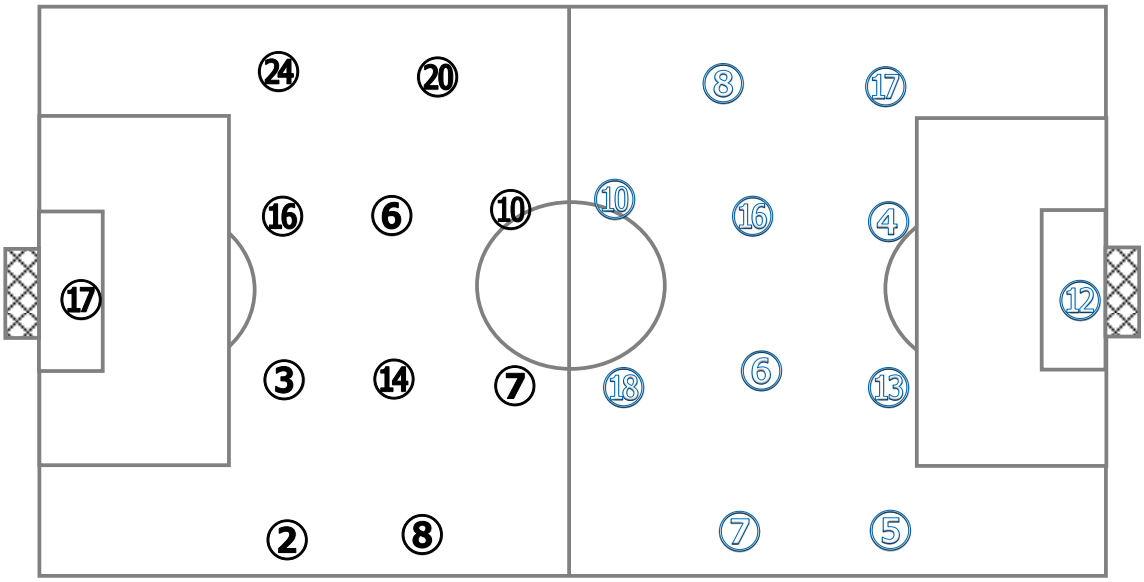
平成30年度 栃木県高校総体兼第61回 関東高等学校サッカー大会県予選会　　**準決勝**

2018 年 5 月 12 日 （ 土 ） 13:00 kick off 会場（ 栃木県グリーンスタジアム ）

佐野日大 . vs 小山西

佐野日大		小山西
3	1 - 0	0
	2 - 0	
	-	
	-	
	PK	

基本システム 1 － 4 － 4 － 2　　基本システム 1 － 4 － 4 － 2



【Match Report】

準決勝第2試合はシード佐野日大高校とノーシードから勝ち上がってきた小山西高校の試合となった。キックオフ時には気温が上昇し、乾燥したピッチコンディションでの試合となった。関東大会への切符を賭けた試合は佐野日大のキックオフで試合開始した。両チームとも1－4－4－2のシステムでスタートし、立ち上がりはお互いにボールへのプレッシャーが激しく、相手にチャンスを作り出させない展開が続いた。その中でも佐野日大はロングパスを織り交ぜながら小山西の守備が薄いエリアを突いていく。小山西はショートパスを主体に試合を組み立てようとするが、佐野日大のブロックを崩し切れない時間が続いた。徐々に佐野日大は左サイドで攻撃の起点を作り、左MF⑳細谷と左DF㉔渡部が積極的に攻め上がりクロスを供給しチャンスを作り出す。小山西はMF⑦阿部やFW⑩青木を中心にボールを動かそうとするが、佐野日大の早い寄せに良い形ができない。前半37分、佐野日大はMF⑳細谷が2枚目のイエローカードで退場となり、一人少ない状況での試合を強いられたが、ロスタイムに佐野日大はCKからDF⑯大塚が頭で合わせ先制に成功して前半を終えた。

後半は一人少ない佐野日大が1トップでMFとDFのラインでブロックを敷き小山西の攻撃を待ち構えるのに対し、小山西はボールを保持しながらショートパスとドリブルで突破を試みる展開で試合が進んだ。後半14分、佐野日大は左サイドから上がったクロスボールをMF⑩細谷が折り返し、MF㉒溝口がヘディングで流し込み追加点を奪った。2点のリードを奪った佐野日大は守備ブロックを自陣まで下げて背後と中盤のスペースを消しながらボール奪取の機会をうかがう。一方の小山西はアタッキングサードまでボールを運ぶも、なかなかエリア内へ侵入することが出来ず良い状態でシュートを打てない展開が続く。試合終盤は小山西も積極的に背後への抜け出しを狙い、ロングボールも使いながら得点を狙う。後半38分にショートカウンターから佐野日大がペナルティエリア内で倒されてPKを獲得し、MF㉒溝口がこの日2点目となるゴールを決めて3－0とした。小山西は最後まで体を張って守る佐野日大の守備を破ることが出来ず、佐野日大が無失点で勝利した。

後半を1人少ない状態で戦わなければならなかった佐野日大であったが、状況をに合わせた戦い方で佐野日大が勝利を掴んだ試合となった。敗れた小山西も最後まで自分たちのスタイルを貫き、今後に期待を感じさせるチームであった。

記載責任者　所属（ 烏山高等学校 ） 氏名（ 福田 康平 ）